２０１６年４月２８日付エル・ペリオディコ紙

「日本大使館による日本の伝統及び近代性に関するフォーラムの開催」（仮訳）

４月２１日，グアテマラの国立サン・カルロス大学において同大学及び日本大使館共催の下，「日本：伝統と近代性が共存する社会の印象」フォーラムが開催された。同フォーラムでは最近日本に招待された三名のグアテマラ人（内二名は（日本の）外務省の日本とラテンアメリカ間における新たな交流プログラム「Juntos!」による招待）がプレゼンテーションを行った。

前述の三名は日本滞在中にこれまで知ることの無かった同国各地を訪問すると共に，様々な体験をした。サン・カルロス大学の研究者である二名は日本滞在中における各々の印象や伝統と近代性が共存する日本社会について語った。

写真左より：グレンダ・マルティネス「グアテマラ日本国費留学生の会」会長，フリア・コラード当地エル・ペリオディコ紙編集長，ホルヘ・ウォン国立サン・カルロス大学政治・社会研究所研究員，クリスティアンス・カスティージョ国立サン・サンカルロス大学国内問題研究所研究員

ECP